

(様式3-2)

障がい福祉分野の介護ロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 実績報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 岡崎市

【基本情報】

フリガナ	シャイフクシホウジンアイチキョクヨウカイ		
法人名	社会福祉法人愛知玉葉会		
フリガナ	ダイニトウカソウ		
事業所名	第二藤花荘		
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)			
障害者支援施設			
職員数(常勤換算数)【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】			
27.8 人			
参考情報:令和元年度から令和6年度に係るロボット等導入支援事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)			
(補助実績)	なし	(補助年度)	

【報告に当たっての確認事項】 ※記載内容を確認し、チェックすること。

- ☒ ロボット等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知した。
- ☒ 「福祉・介護職員等処遇改善加算」を算定した。

事業実績

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☒ 見守り・コミュニケーション ☐ 機能訓練支援 ☐ 栄養管理支援

機器名: 眠りSCAN

機器の特徴:

ベッドに設置したセンサーにより体動(呼吸、心拍など)を測定し、睡眠状態を把握するシステム。
これによりご入居者の生活リズムの改善や健康状態の把握が可能となる。

(2)機器を導入して感じた課題及び効果(複数回答可)

課題	効果
☒ 1 導入費用が高額である ☐ 6 使い方の周知や教育・研修等の業務改革の必要性がある ☐ 2 機器に関する情報が少ない ☐ 7 法人または施設・事業所としての具体的な方針が足りない ☐ 3 機器が現場のニーズにあっていない ☐ 8 機器を活用するための人員体制が足りない ☐ 4 利用者・職員の安全面に不安がある ☐ 9 導入・活用する事に利用者・職員に抵抗感があった ☐ 5 設置場所や準備・点検等、維持管理が大変 ☐ 10 その他 (※その他を選択した場合に記入)	☒ 1 ケアの質の向上 (利用者の自立支援、社会参加・コミュニケーション機会の増加に向けたケアの実施、根拠に基づいた支援の実施等) ☒ 2 職員の精神的・肉体的負担軽減 ☐ 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進 ☒ 3 業務の効率化 ☒ 6 ヒヤリハット・介護事故の防止 ☐ 4 会議や他職種連携におけるロボットの活用 ☐ 7 その他 (※その他を選択した場合に記入)

(3)事業所が抱える課題

- ・夜間の利用者の見守りに関して、センサーマットを使用しているが、センサーマットが反応したのを確認してから駆け付けでも、すでに転倒していたり、支援が間に合っていないことがある。
- ・目の届きにくい夜間に利用者の状態の確認をするには巡視をしないと確認できない状況がある。夜間の訪室を何度も行うことで、利用者のプライバシーや睡眠を妨げてしまうこと状況がある。
- ・利用者の状態に合わせた訪室や個別ケアがうまくできない状況がある。
- ・夜勤職員のスキルによって巡視の回数や巡視時の確認内容に偏りがある状況がある。
- ・本人確認のために訪室することで本人が起きてしまうため、睡眠習慣(生活習慣)の把握が難しい状況がある。(眠剤の使用の判断など)
- ・ナースコールを自分で押すことができない利用者のトイレ誘導が定時誘導のみで、本人の行動に合わせた支援ができていない状況がある。

(4)ロボット機器等を導入した業務内容(概要)

- ・利用者の状況確認(見守り)
- ・利用者のプライバシーの尊重
- ・利用者の排泄介助
- ・利用者の静養時の状況確認
- ・利用者の健康状況の把握(睡眠状況など)